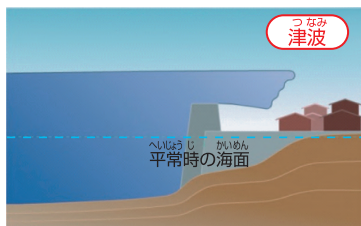


2 津波について知ろう

津波はどのようなものかな。

東日本大震災では地震の後に大きな津波がきて、たくさん
の人、家、車などが流されました。津波のひ害にあわないよ
うに、津波の特ちょうについて知り、いざというときに正し
い行動がとれるようにしましょう。



海の中で地面が大きく動くことで海の
水も大きくゆれて大きな波ができる。
これが津波です。

津波の仕組み

○ 時間・速さ



東日本大震災が起きたのは、午後2時46
分でしたが、石巻市の鮎川には15分もたたず
に最初の津波がきました。また、約1時間後
には石ノ森萬画館にとっても大きな津波がきまし
た。津波のスピードはとても速いので、もし、
大きな地震がきたらすぐに高い所へ避難しま
しょう。

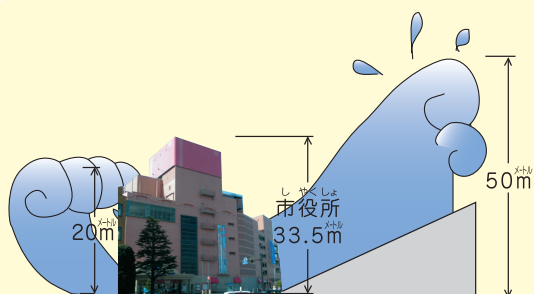


津波は地震がおきてからすぐに来ること
もあれば、しばらくたってからくることも
あります。外国で大きな地震がおこって発
生した津波が1日近くたってから日本にき
たこともあります(チリ地震津波)。ですか
ら、注意ほうやけいほうが出ている間は気
をつけなければいけません。

○ ちから たか 力・高さ



津波の力は車や家もおし流してしまうほど強い
力をもっています。人間は、ひざの下くらいまで
水がくるだけでも、動けなくなったり流されてし
まったりするので、すぐに高い所へにげなければ
なりません。



津波は、せまい場所では高くもり上
がります。東日本大震災では、場所によっ
ては20m以上の波がきて、50m
近くまでもり上がりました。

避難するときには、少しでも高い所へ行くようにしましょう。

○ うご 動き



津波はくりかえしやってきて、最初にきた波よ
り後から来た波の方が高くなることもあります。
また、津波は川をさかのぼってきます。東日本大
震災のときは、河口から約50km離れた登米市
でも川の水が高くなりました。津波の時には海だ
けでなく、川からもはなれて避難しましょう。



ふりかえり
